

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)

【公開番号】特開 2011-141508 (P2011-141508A)

【公開日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2011-029

【出願番号】特願 2010-26285 (P2010-26285)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/038 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/075 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/038 5 0 1

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/075 5 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 21 日 (2012.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

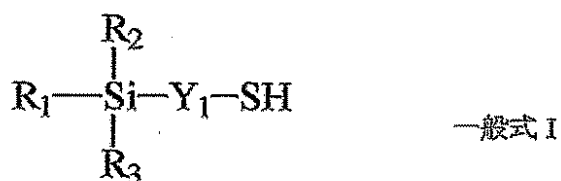
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体及びその上に形成された光硬化性感光層からなり、該光硬化性感光層が、少なくとも下記一般式 I で示される化合物を用いて合成され、かつ側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基およびスルホン酸塩基の少なくとも一つを有するポリマーを含有することを特徴とする感光性平版印刷版材料。

【化 1】

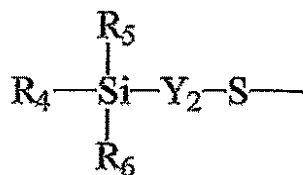


(式中、 $\text{R}_1$ 、 $\text{R}_2$  および  $\text{R}_3$  は各々独立して、炭素数 1 ~ 10 のアルキル基またはアルコキシ基を表す；但し、 $\text{R}_1$ 、 $\text{R}_2$  および  $\text{R}_3$  のうち少なくとも 2 つはアルコキシ基を表す； $\text{Y}_1$  は炭素数 1 ~ 10 のアルキレン基を表す。)

【請求項 2】

前記ポリマーが、主鎖末端に下記一般式 II で示される基を有し、側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基またはスルホン酸塩基を有するポリマーである請求項 1 記載の感光性平版印刷版材料。

## 【化 2】



一般式 II

(式中、 $R_4$ 、 $R_5$  および  $R_6$  は各々独立して、水酸基、炭素数 1 ~ 10 のアルキル基またはアルコキシ基を表す；但し、 $R_4$ 、 $R_5$  および  $R_6$  のうち少なくとも 2 つは水酸基もしくはアルコキシ基を表す； $Y_2$  は炭素数 1 ~ 10 のアルキレン基を表す。)

## 【請求項 3】

前記ポリマーが、ポリオルガノシロキサン構造を有するユニットと、側鎖に重合性二重結合基および、カルボキシル基またはスルホン酸塩基を有するユニットとが、硫黄原子を介して結合しているポリマーである請求項 1 記載の感光性平版印刷版材料。